

平成 25 年度 図書館モデル公開授業 研究実践校
札幌市立幌西小学校 第 3 学年の実践

3 年国語科「本は友だち」

学習のねらい

- ・ 図書館の配架や分類、図書館利用のマナーについて学び、たくさんの本の中から紹介したい一冊の本を見付けることができる。
- ・ 本を見付けるために中央図書館で工夫されている点について、幌西小学校の図書室と比べながら見付けることができる。

主な学習活動



【当日までの学習】

- ・ 幌西小学校の図書室を訪れ、本を見付けやすいように工夫されている点を探した。
 - ◆ 配架（シリーズ毎・作者ごと・五十音順など）
 - ◆ 絵本の棚 ◆ 新刊コーナー ◆ 検索機 など
- ・ 本の選び方を学習した。
 - ◆ 表紙の絵を見る ◆ 目次を見る ◆ ぱらぱらと見る
 - ◆ 題名や作者を見る

【当日の学習活動】

- ・ 図書館利用の約束や本の並び方、探し方などについて説明していただいた。NDC 大分類に沿って配架されていることや検索機の使い方、図書館の利用方法やマナーについて学んだ。
- ・ 2 学級ごとに「子どもの森」へ行き、図書館の地図を片手にたくさんの本の中から友達に紹介したい本をじっくりと探した。
- ・ 本の題名や目次を見たり、ぱらぱらめくって読んだりして、怖い話や図鑑、アニメの本やスポーツの本など、お気に入りの一冊を見つけた。
- ・ 貸し出しカウンターにて貸し出し手続きをしてもらい、本の借り方も学んだ。
- ・ その後、2 階の講堂にてじっくりと読書をし、借りた本を学校へ持ち帰った。

授業の成果と課題

本校の 3 年生は、中央図書館へ何度も訪れた経験がある子もいれば、今回が初めてとなる子もあり、大きな図書館の利用経験には差があった。改めて、図書館の担当者からお話をいただくことで、本の見付け方や図書館の利用の仕方を学ぶことができた。また、NDC 分類について知ることができた。全員が本を借り、今まで以上に図書館や本がより身近なものとなったようである。学校の図書室でも、表示札や本の並び方を頼りにしながら、読みたい一冊を探すことができるようになった。また、事後の本の紹介でも、意欲的に本を選んでスピーチをすることができた。

課題としては、図書館でできる活動に広がりをもたせられなかった点である。1 回の活動時間を長くしたり日程を二日に分けたりして図書館という空間にたっぷり浸らせて子どもたちの創造力を喚起させたかった。また、小グループに分かれて本の帯やポップの作り方を設定できると、その後に学習する、本のあらすじの要約の取組にもつなげることができると考えた。